

# 皆さんから寄せられた感謝のお言葉

## 受付期間 令和5年6月分

### 感謝の言葉

5月末に入院、手術をして、6/3退院します。関係者のみなさん大変お世話になりました。手術自体は何度か受けているので術前の怖さや緊張はありませんでした。それでも手術台に横になり、麻酔をするとなると、心細くなってきました。そんな私を察したのか？私の右手を握り、指でさすってくださった看護師さん。どこのどなたか存じ上げませんが、本当にありがとうございました。いつも何気なしに、当たり前前に息子（もうすぐ4歳）の手を握ってましたが、「ああ、人の手ってこんなにあたたくて安心するもんなんだな・・・」と思いました。普段手を握るだけで、息子はこんなに安心してた・・・？と考えているうちに、いつの間にか眠っていました。皆さんにとっては、仕事で当たり前やっている事が、患者さんにとっては、とてもありがたく、温かく、安心感につながったりします。大袈裟かもしれませんが、誰が欠けていても、どの処置や看護が無くても、私はここまで順調に治ってなかったと思います。それくらい、治していただけるのは有難いことです。手術が終わって、寝たきり状態から歩けるようになるまで、「生きていること」の全てを甲斐甲斐しくお世話していただき、本当にありがとうございました。腫瘍を取っていただき、心も体もスッキリしました。帰宅したら、また慌ただしい日常に戻りますが、ハリキリすぎず、ぼちぼちやっていこうと思います。この度は、本当にありがとうございました。お忙しい毎日かと思いますが、どうぞお身体お気をつけて・・・（頑張りすぎずに休みつつ、）益々のご活躍をお祈りしております。

先週父が呼吸器の方に入院させて頂き、お世話になりました。担当の先生他看護師・ナースチームの皆様には大変丁寧に誠実に接して頂き、転院先でも無事スムーズに治療移行できました。家が近くなので、父がまた家に戻る事ができた際には、また、お世話になることもあろうかと思えます。医療センターが近所にあって本当に良かったと心から有難かったここ数週間でした。ありがとうございました。完治することのない状況のようですので共存で長生きして、苦しみことなく、寿命を全うしてもらいたいと思っています。

温かいお言葉をありがとうございました。